

ビジネス
編

「新入社員は電話の恐怖」

目の前で電話が鳴るとビクッとする。まさに恐怖です。誰かが取ってくれるとホッとするでしょう。『今度電話が鳴ったらどうしよう』そう思っているとタイミングを計ったように電話が鳴ります。新入社員なら誰でもこんな経験をするでしょう。電話が鳴ったら出るだけでOKです。必ず相手は何か言いますからその言葉に反応すればOKです。「聞いたことない声だな」「ハイ」「誰?」「〇〇と言います」名乗るだけでOKです。「仕事をわかるか?」「わかりません」素直に言えばOKです。これで相手の機嫌が悪くなら「すみません」と謝ればOKです。『誰に代わりましょうか』尋ねられればOKです。「××に代わってくれ」(××さんが分からない場合は大きな声を出し)『××さん!

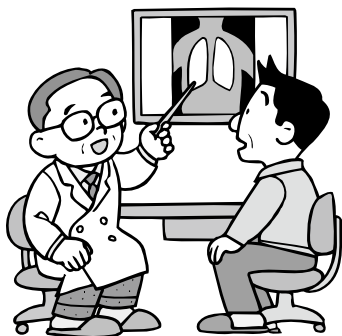
お電話です!』でOKです。「誰から電話なの?」と聞かれます。『名前は聞いていません』『ダメじゃないか。ちゃんと相手の名前を聞かなくちゃ』(新入社員だから分かるわけがないでしょ)ムカッとしなければOKです。素直にすみませんと謝ればOKです。これでわかったでしょう。電話が鳴ったら《とにかく受話器を取る》。出たら《自分の名前を言う》。誰かに代われと言われたら《ハイと言ってその人の名前を大声で叫ぶ》。相手の名前を聞いてなくて叱られたら《素直に謝る》。叱られるのも勉強、我慢するのも勉強です。こうして人と仕事に分かって来て次第に恐怖は薄れるのです。あなたの周りには人柄を考えて好きになれない人がいるかもしれません。しかしその人も社員であるのは確かです。すべての人がそれぞれ仕事を分担して働いています。とにかく明日もまた元気で出勤しましょう。



©越後湯沢YSS

プライベート
編「できたら・・・は
緊急を要する知らせです」

お医者様からの言葉だとこんな場面があるように思います。「できたら、タバコをやめたら如何ですか?」「できたら、お酒はやめたほうがいいですね」「できたら、検査を受けた方がいいですよ」。会社の先輩からの言葉だとこんな場面が想像できます。「できたら、家に帰って寝なさいよ」「できたら、課長と話してみたらどうなの?」この「できたら・・・」という投げかけに人は一般的にどう



対処するでしょう。【タバコをやめたら如何ですか?】やめた方がいいと分かっているけど吸い続ける。【お酒はやめたほうがいいですね】分かっているけど飲み続ける。【検査を受けた方がいいですね】そうしますと言いながら予約をしない。【家に帰って寝なさいよ】空返事で働き続ける。【課長と話してみたらどうなの?】課長も忙しそうだからと遠慮する。「できたら・・・」は「今すぐ」という緊急の意味なのです。「できたら・・・」の言葉ですぐに行動を起こしていれば責任が持てる。お医者様が私の力で何とかできるということなのでしょう。「できたら・・・」という意味は素直に【今すぐに】というふうに理解してみましょ。タイミングを逃すと、治るのも治りにくく手遅れ状態になりかねません。重症になってからやって来てそれでダメな医者とか上司を分らず屋などと口にするのは失礼なことですよ。周囲を見渡すと「もうちょっと早く気が付いてくれればこんなことにはならなかったのに」そう言って嘆く家族の例を数多く見受けました。とても残念なことです。働き盛りではどうしても仕事を優先しがちでその立場も分からないではないのですが手遅れにならないことが大事です。

©越後湯沢YSS